

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第16号 令和2年7月22日（水）
たきおっ子の生活信条：

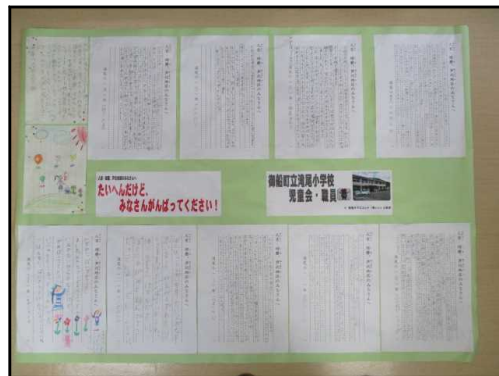
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：56名
文責：（校長）河地浩太郎

人を思う心（他者意識）を育てる

～被災地への応援メッセージ～

右の写真は、先週子どもたちと職員が書いた豪雨被災地への応援メッセージ（励ましの手紙）を、一枚の広用紙にまとめたものです。児童・職員合わせて69名分を、8枚の広用紙に貼り付けました。そして、このうちの2枚を、芦北教育事務所を通じて芦北町に、あとの6枚を球磨教育事務所を通じて、人吉・球磨の被災地に届けることにしました。どの手紙を読んでも、被災地あるいは被災された方への励ましの思いが込められていて、きっとその思いは伝わると思います。

今回、この取組を行った目的は、①厳しい状況におかれた人々への思いやりの心を養う（他者意識・自己表現力）②自然災害に対する備えの大事さについて考える（防災意識）ことにありました。手紙の中には、熊本地震の時のことを思い出して書いている子どもいました。今回の取組が、これから先の生活の中に活かされてくればと思います。



「気づき、考え、行動できる力」を身につける

～第1学期人権集会～

昨日、2時間目に校内人権集会を行い、校内人権旬間期間中（7/6～7/17）に学習したことを発表し、感想を交流しました。発表では、いじめや差別をなくすために、「だまっていなくて勇気を出して言う」「相手のことを考える」「声をかける」など、各学年で考えた取組が述べられました。子どもたちが学習の中で、「気づき」「考え」「行動できる」よう、日常生活の中で見守り声掛けをしていきます。※集会では、人の名前の呼び方について話をしました。



【学んだことを発表する子どもたち】

名前の呼び方はどうですか？



命を守る「着衣水泳」 R2.7.17（金）実施

YMCAから2名のインストラクターの方においでいただき実施しました。話の中では、ランドセル（教科書類を入れたもの）も救命用具になるとのことです。衣服を着た状態では、とても泳ぎにくいことなど、万が一に備えて学んだことを覚えていてほしいです。



ちょっと夏休み気分？（明日から4連休）

あしたから連休になりますが、**規則正しい生活と下の3点**についてご家庭での指導をよろしくお願いいたします。

- ★**新型コロナの感染予防**をする。（3密、不要不急の外出を避けるなど）
- ★**交通事故防止**に努める。（自転車の乗り方、シートベルトの着用など）
- ★**水の事故**に気を付ける。（川・海などシーズン初め事故が多い）

シリーズ滝尾の自然④ 御船川(その2)

滝尾を流れる御船川には、モクズガニ（下写真）がいます。私が小さい頃は、「川ガニ」といってよく食べていました。ゆでると赤くなりますが、生きているときは濃い緑色をしています。今でも、しかけ（「ガネウケ」）で、よく獲られているようです。食べると身もおいしいですが、黄色いカニみそはなかなかの味です。カニも住みよい環境を守りたいものです。



※裏面に、熊本県からの「新型コロナウイルス感染症に伴う偏見や差別の防止資料」を載せていますのでご覧ください。

